

## 1. 講演会

日時：2009年9月26日(土)13:00～17:00

場所：同志社大学新町キャンパス 溪水館1階会議室

(地下鉄今出川駅2番出口から徒歩10分)

### スケジュール

13:00～13:10 司会者挨拶およびゲストスピーカー紹介

13:10～14:30 「上海市養老サービスのモデル」

章曉懿准教授 (上海交通大学国際与公共事務学院副院長)

14:35～15:55 「中国のソーシャルワーカーについて」(仮題)

徐永祥教授 (華東理工大学社会与公共管理学院院長,  
中国社会工作教育協会副会長)

15:55～16:10 休憩

16:10～17:00 質疑応答・総括

## 2. 懇親会

時間：17:30～19:30

場所：寒梅館1階レストラン Hamac de Paradis

問い合わせ先：同志社大学社会福祉教育・研究支援センター ([derc-sw@mail.doshisha.ac.jp](mailto:derc-sw@mail.doshisha.ac.jp))

人数把握のため、懇親会に参加する方は9月23日までに当センターに知らせてください。

## 趣 旨

1999年、中国も高齢化社会に突入しました。しかし、伝統的に高齢者の扶養や介護などの責任は依然として家族が担っています。ただ日本のように都市化、産業化の発展につれて、農村の若者たちの都市への進出が加速され、農村においては生産年齢人口の「空洞化」が現れ、高齢者への福祉サービスは喫緊の課題となっています。したがって、この伝統的な家族扶養の持続可能性が問われています。

中国政府は2000年に「社会福祉の社会化」というスローガンを掲げました。10年近くの年月が経た今、中国の「社会福祉の社会化」の現状や発展趨勢はどのようになっているのでしょうか。億人単位の高齢者が出現するという歴史的に未曾有の経験に中国はどのような体制と政策で臨もうとしているのでしょうか。

今回は上海交通大学の章曉懿准教授と華東理工大学の徐永祥教授を招いて、中国の高齢者福祉サービス及びその人的資源の現状と課題について講演をしていただきます。